

# スクールカウンセラーだより

西尾市立西尾中学校

平成23年9月号

「スピリットベアにふれた島」 ベン・マイケルセン 著 読みました？



夏休みの課題図書になっていたのですが、読んだ人は何人かいるのではないのでしょうか？

この本は、私に、ほんとにいろいろな事を感じさせてくれて、考えさせてくれたので、思いがあふれて、この紙面では語り尽くせません。 けれど……ちょっとだけ……。

主人公のコールは、15歳。他人なんてこれっぽかしも信じてはいませんし、大きな大きな怒りをかかえています。

同級生のピーターが、コールの悪さをチクったことを知り、怒りを大爆発させて、なぐりかかり、頭を何度も歩道にたたきつけるほどの暴行を加えてしまいます。

それで警察に補導されるのですが、反省するどころか、そもそもピーターが自分のことをチクるから悪い、ケンカのやり方も知らないから、大けがをするんだ！『「ざまあみろ」コールは初めてピーターの容態を聞いたとき、そうつぶやいた。』

親に対しても、『ひどいやつらだ！……何でもかんでもおれが悪いと思っている……「あんたたちの面は、もう二度と見たくねえんだよ！』と、弁護士と親に向かってどなりまします。

これまでも何度も補導され、そのたびに「コールを助けよう」といってきた人たちがいたのですが、『やつらはうわべだけの思いやりを見せるだけだった。おれがどうなろうと、ほんとうはなんとも思っていないし、みんな気の小さい連中だ。目を見ればわかる。おびえていたし、やっかいばらいができてほっとしていた。助けるふりをしていたのは、他にどうすればいいか分からなかったからだ』

こんなコールが、後半では、後遺症が残り、生きていく意欲を失い、自殺しようとするピーターを救うために、「自分にできること」を考え、行動し始めます。

コールほどの暴力をふるうことはないけれど、でも自分でもどうしようもないくらいの怒りがこみあげてきて、壁をなぐっていた……。そんなことは、ないですか？

大人達が何か言っているけど、「ふん！！ 口先だけだろう？！！」って思ったことも、あるのではないかしら？

そんな自分の中の怒りや、不信感をもてあましている人は、コールがどのようにそれと折り合いをつけていったか、ぜひ読んで、感じてみて欲しいなと思います。

よろしかったら、相談室まで来てください。

コールについて、語り合いましょう！

## 🌀 9 / 10月の登校日 🌀

☆面接可能な時間は 10:30~17:30 です。

☆事前に御予約くださいね。

9月 5日(月) <ほっとオアシス親の会開催予定> 11:30~12:30です。  
15日(木)  
26日(月)

10月 3日(月) <ほっとオアシス親の会開きます！> 11:30~12:30です。  
6日(木)  
17日(月)  
24日(月)